

県建設業協会 被災者へ寄付

総額2000万円に

県建設業協会の照屋義実会長は写真右から3人目。13日、県庁に与世田兼稔副知事ら4人目を訪ね、東日本大震災の被災者支援で70



0万円を贈呈した。

照屋会長は「郷里に戻れない住民も多く、なんとかしてあげたい。県内への避難者もおり、継続支援が必要」と述べた。下地米蔵副会長、大城元臣副会長、小谷和幸常務理事が同行した。同協会は昨年1300万円余を寄付。今回は2011年度予算で支援費に計上した分を贈った。



建設業協会が
義援金700万円

総額2千万円超

県建設業協会の照屋義実会長らは13日、県の与世田兼稔副知事を訪ね、東日本

大震災の復興支援に役立ててもらおうと700万円を寄付した。写真は、同協会が、震災直後から食料や寄付金を被災地へ送付している。総額は2千万円以上となった。

支援金を受け取った与世田副知事は「東北では、まだ被災者は寒さの中で震えている。長い支援が必要だ」と感謝した。照屋会

長は「引き続き継続的な支援をする」と話した。